CO-DESIGN STUDIO Dgraph company newsletter

THE CO-D WEB TIMES

TEL：050-1726-5272　Mail：dgraph-info@dgraph-web.com　https://dgraph-web.com/
©2025 Dgraph LLC. All rights reserved.

2026.02.02. Monday.　ディーグラフ通信

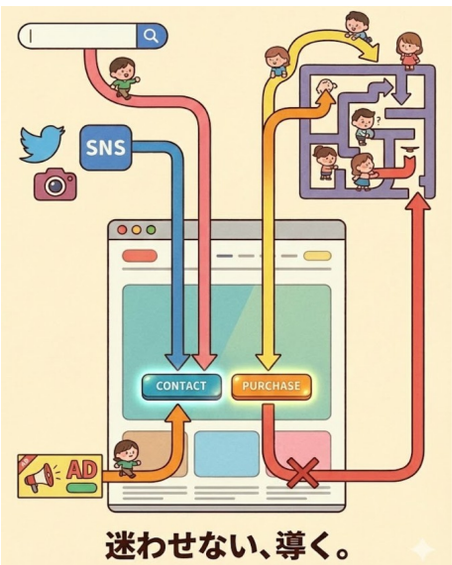
ホームページの導線設計していますか？

ホームページ制作において、多くの方がデザインや記事内容といった「コンテンツ」の充実に力を注ぎますが、実はそれ以上に成否を分けるのがホームページへの「導線設計」です。

どれほど洗練されたデザインや有益な情報を詰め込んだサイトでも、そこへ至る道筋がなければ、誰も辿り着けず、その価値が発生することもありません。初心者が陥りやすい最大の罠は、この「入口」と「出口」までの線を軽視したサイトを作ってしまうことです。

一般的にユーザーは考えている以上にせっかちです。次にどこへ行けばいいか、どのボタンを押せばいいかが数秒でも不明確であれば、すぐに離脱します。「誰が、どこから来て、どう動くか」という設計のないサイトは、再訪の可能性を著しく下げてしまいます。

設計の第一歩として、まずは流入経路を絞り込むところから始めましょう。私たちが導線設計のお手伝いをいたします。詳しくは下記記事をご参照ください。



その１：ネット上の導線設計

1. 「お悩み解決」の入口を作る
ネットで検索する人は、何かに困っています。例えば「〇〇　直し方」のように見込客が検索枠に入力しそうな「お悩み」への答えをページに用意しておきます。これが、ネット上での最も自然で確実な入口になります。

2. SNSでは「おいしいところ」だけを見せる
SNSでは、情報の「結論」や「役立つコツ」だけを短く発信します。「もっと詳しく知りたい！」と思ってもらったところで、サイトへのURLを案内するのがコツです。

3. 最後まで「大きな看板」で導く
サイトに着いた後が本番です。「次は何をすればいいか」を迷わせないよう、目立つ場所に「予約はこちら」「お問い合わせ」といった、次のアクションに繋がる大きな看板を置きます。
専用のランディングページを制作し、そこに着地させるのも有効な手段のひとつです。

どんなに素敵なWEBサイトでも、そこへと導いてくれる道が無かったり複雑だったりすれば、誰もたどり着くことができません。

コンテンツ制作にかける情熱を、同じように動線設計にも注いでください。この地味で丁寧な作業が、成功への近道となります。

その２：リアルな世界での導線計画

ホームページの制作時には、画面の中だけで完結しがちですが、実際には「現実世界からの導線設計」こそが成功のカギを握っています。

アクセス経路の多くが、名刺や封筒、パンフレットといった印刷物が起点になっています。特に実店舗がある場合には、店内POPやショップカードを起点とした設計がアクセスアップの最短距離になります。

導線設計の本質はネットもリアルも共通です。「閲覧者が欲しい情報を迷いなく提示し、次のアクションに導く」こと。例えば店内POPのQRコードから商品の詳細な使い方や効能を解説するページへ誘導すれば、お客様が今知りたい情報をピンポイントで届けられ、販促効果は最大化します。

物理的な接点をデジタルの入口に変える。この視点がサイトの価値をより大きく高めることになるのです。

セキュリティアクション２★宣言

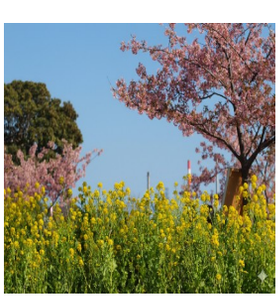
お客様からお預かりした大切な情報や当社で制作した情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、情報処理推進機構（IPA）の推進するSECURITY ACTION の二つ星を宣言しました。

ネットで繋がっている世界が当たり前となり、サイバー攻撃や個人情報の漏洩といった情報セキュリティのリスクは、より一層深刻化しています。

SECURITY ACTIONの宣言を通じて、今後も更に安心してお取引いただける環境づくりに取り組んでまいります。
自己宣言ID： 41098149234

SECURITY ACTION ★★
セキュリティ対策自己宣言

今月のヒトコト



立春を迎え、暦の上では春が参りました。お正月の賑わいも落ち着き、皆様におかれましては年度末の目標達成に向け多忙な時期かと存じます。

この追込期を乗り切るコツは、デジタル技術の有効活用です。日々のルーチンワークを効率化し、クリエイティブな時間を捻出することは、まさに現代の「鬼は外、福は内」といえるでしょう。

弊社はデザイン制作会社として、単なる視覚的な美しさだけでなく、デジタル技術を駆使した業務効率化デザインサポートにも注力しております。

現在、現場のデジタル活用を強力にバックアップする新サービス「デジタル現場監督」を企画中です。サイト制作の知見を活かし、皆様の日々の業務が円滑に進むよう伴走いたします。

追込期はデジタルの力で福を呼び込みましょう！